



交流を通して英語力向上！  
様々な国の人と交流し、大切な仲間ができて人間の温かさを知る。  
自分自身の価値観が大きく変わります！

システム理工学部環境システム学科2年  
内山駿さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可 派遣先： マレーシア・APU

将来特にやりたいこともなく、このまま大学生活が終わってしまっているのかという気持ちから、また、とりあえず何か新しいことを経験したい、という少しふんわりとした気持ちから、留学することを決めました。どうせ行くなら一か月間行きたいと思いつスケジュールを考えたところ、所属している部活の日程の関係で、このプログラム(マレーシア・APU)一択でした。

平日は私のクラスは午前中に約4時間の授業がありました。授業は主にディスカッションやプレゼンの発表等で、受け身ではなく自発的な授業となるのでとても楽しく、笑顔で溢れるクラスでした。その後は大学で昼飯を取りますが、その後はフリータイムです！プレゼンの準備で忙しい時や、若干重めの課題が出たりすることもあります。基本的には自由な時間を過ごすことができます。時間の使い方は人それぞれで、ショッピング・観光・部活等、それぞれ有意義に時間を使います。また、土日は既にツアーが組まれていて、様々なスポットにバスで連れて行ってくれます。個人的には部活に参加することを推奨します。自分はサッカー部と地域のフットサルに参加していました。皆とてもフレンドリーに接してくれて友達ができたりと、自然と英語を使う機会が増えます。またスポーツは国境を超える素晴らしいものだと実感することが出来ました。

このプログラムの最大の利点は、交流の多さです。国内・国外交流を通して普段関わることの出来ない多くの人達と交流しました。そこで、様々な人の価値観・世界は広いことを感じる事ができ、何かを得るために何事もとりあえずやってみようという精神が生まれました。また、人間の温かさ・人間の素晴らしさを実感することができ、もっと様々な人たちとコミュニケーションを取れるようになりたいと思い英語習得の意欲も大きく向上しました。今回の留学を通して、大学・性別・年齢・国境を越えた数多くの友人を作ることができ、留学後の人生がより充実したものとなっています。



## 日本には分らなかった！ 異文化を肌で感じた1か月

システム工学部 環境システム学科1年  
有賀さやさん

### 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可 派遣先： マレーシア・APU

#### 1. このプログラムに参加しようと思った理由

私がこのプログラムに参加しようと思った理由は、1年間英会話教室に通って培った英語力を実際に使う機会を設けたかったから、自分のためにたくさん時間を使える今この時期にしかできないことをしたかったから、また、リスニング力を高めることでTOEICの点数を上げたかったからです。またマレーシアを選んだのはマレーシアが他民族国家のため、日本にはない文化に触れることができると考えたからです。

#### 2. プログラム中の様子について

平日は120分の授業が2コマずつありました。授業で印象的だったのは、他の国の学生たちが非常に意欲的で積極的に発言していた点です。授業のコンテンツでは、私はスピーキングの授業が特に印象に残っています。プレゼンの様子を録画したビデオをクラス全員で見直し、良かった点や悪かった点を話し合いました。英語でプレゼンをする機会は日本ではなかったもので、私にとって大きな経験となりました。また、同じクラスの学生が作ったPowerPointの資料や話し方がとても参考になり自分の発表にも活かすことが出来ました。土日は観光をしました。学校がバスを手配してくれて、クアラルンプール市内やマラッカに行きました。Free timeの日は自分達で飛行機を予約しペナン島にも行きました。

#### 3. プログラムへの参加が自分にどう影響を与えたか

英語力を上げることができたことはもちろんですが、それ以上に自分の視野を広げることが出来たことが私にとって大きかったです。留学先の大学に通っている日本人の学生と話す機会がありました。自分とは全く異なる生活をしている話は大変刺激を受けました。また島津製作所に会社見学に行った際、異なる国籍の人が同じ会社で一緒に働いている姿を目にしました。英語によってコミュニケーションがなされているのを目の当たりにして、もっと自分の気持ちを英語で話せるようになりたいと強く思いました。英語を学べば学ぶほど、自分の英語力の無さを痛感させられます。日本に戻ってから英語を使う機会を意識して増やし、勉強していきたいと思えます。



右も左も英語だらけ！  
英語を使わなきゃ始まらない！  
間違えて覚える英語の日常。

工学部 電気工学科 2年 恒川桂一さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ


交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可 派遣先： マレーシアAU

将来英語が必要になるとは感じてはいたものの、苦手なためあまり使う機会もなく、また勉強も積極的にはしないというスタイルで2年生まで進んできてしまいましたが、学科の先生や親からも留学を強くすすめられたこともあり、思い切って語学研修プログラムに参加することにしました。2週間のプログラムではなく、4週間のAPUIにしたのは、2週間では現地に慣れた段階でプログラムが終わってしまうので長めのプログラムの方がよいだらうという父親からのアドバイスによるものです。

滞在期間中は午前中に2時間、午後に2時間の計4時間の授業に参加しました。午前の授業はいわゆるSpeaking & Listeningで、パワーポイントを使って英語でプレゼンをしたり、先生が持ってくる話題についてディスカッションしたりしました。午後の授業はいわゆるReading & Writingで、同じクラスの学生とグループを組んで話題に沿ったエッセイを書くなどしました。基本的にすべて会話は英語、学生のメモも話す言葉も英語です。私が所属したクラスは20人ほどで日本人は私を含めて8人。他は中国人が5人、中東系が4人、アフリカ系が2人、韓国人が1人という環境でした。プログラム中は、朝食や昼食用の時間が長めに取られていたので、他の学生と会話したり、図書館で本を読むなど自由に過ごすことが出来ました。キャンパスの外でも英語漬けです。観光地やスーパーでは、英語で道を聞いたり、英語で値段交渉をしたりします。また、休日はマレーシア内の観光スポットに学校のスタッフが連れて行ってくれるため、外国の文化に触れながら楽しく英語を学ぶことが出来ました。

英語を日常会話で使うという体験は今までなく、現地では失敗するかもしれない、間違っているかもしれない英語を使ってコミュニケーションを取っていました。しかし、英語は自転車などと一緒に、失敗した分だけ失敗の分だけ成長します。マレーシアにあって実際に自分に変化があったとすれば一番の変化はこれです。失敗を恐れて尻込みするより、失敗を恐れず一歩。



多国籍な人々とかかわりを持つことができ、  
コミュニケーション能力の重要性を認識しました。

建築学部 建築学科 2年 船田 彩香さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可 派遣先：マレーシア APU

今回、私はマレーシアのAPUの語学研修に一月参加しました。もともと海外への関心が高く今回の留学は3回目でした。アジア圏への留学はしたことがなく、色々な文化に触れたい、少しでも長い時間海外で生活したいという思いから今回はマレーシアへの1カ月の留学を決意しました。また、寒さがあまり得意ではない私にとって日本が冬の時期に常夏のマレーシアに行けるのは、とても魅力的でした。

APUでは、まず最初にテストを受け、自分のレベルにあったクラスに分けられました。私のクラスは午前中に4時間の授業があり、パワポをつくってプレゼンテーションをしたりディスカッションをしながらグループでエッセイを書いたり、2人1組で問題を解いたりと様々な授業を受けました。また、先生方が個人個人にあった弱い部分やアドバイスをくれたので自分の改善点が明確にわかり、英語力の向上につながりました。加えて、マレーシアは多国籍な国なため街を歩いているとどの人が現地の方でどの人が旅行者なのか分からないくらい多様性があったことが新鮮でした。クラスにも様々な国の学生がいて、異なる文化の話をするのはとても楽しかったです。しかしやはり自分の語彙力の無さを痛感しました。伝えたいことがあっても伝え方がわからなかったり、単語の意味が理解できなかったりと、特にspeakingにおいて英語力のなさを実感しました。

1ヵ月という短い期間ではありましたが得たものは大きかったです。多国籍の友人、マレーシア文化への関心、英語の学習意欲の向上など、海外への関心がますます高まりました。今後は長期の留学も視野に入れて、英語学習を続けていこうと思います。